

【公開シンポジウム】

外務省は何を隠 したいのか？

～新たに開示された日韓会 談文書から見えるもの～

【日時】 2013年6月15日（土） 午後1時半～5時（1時開場）

【会場】 港勤労福祉会館第1洋室「(東京都港区芝5-18-2)」

交通機関：JR山手線・京浜東北線田町駅西口（三田口）徒歩5分、都営浅草
線・三田線三田駅A7出口徒歩1分

【参加費】 500円

【内容】 基調報告「10・11東京地裁判決による新たな開示の意義と今後の課題」

報告者：張界満弁護士（弁護団）

報告①「請求権問題」

報告者：吉澤文寿（新潟国際情報大学教授・大会共同代表）

報告②「日韓基本関係（竹島問題含む）」

報告者：太田修（同志社大学教授・大会共同代表）

報告③「文化財問題」

報告者：李洋秀（大会事務局次長）



昨年10月11日の東京地裁判決を受けて、外務省は3月29日と4月1日に大量の日韓会談文書を開示しました。開示された具体的な文書を駆使し、その意義と今後の課題を明らかにします。

日韓会談文書開示請求第3次訴訟控訴審第1回口頭弁論
2013年7月9日（火）午前11時～東京高裁809号法廷

主催：日韓会談文書・全面公開を求める会

ホームページ：<http://www.f8.wx301.smilestart.ne.jp/>

問い合わせ先：090-9204-7607（山本）